

浅野俊雄後援会だより No.31

発行者／浅野俊雄後援会 松江市西津田3-11-1 TEL(0852)25-2333 平成18年1月

イヌ年の新年を御家族お揃いでお迎えの事とおよろこび申し上げます。

慣行打破・改革先行の小泉総理の人事も終わり、予算も制度も1月で終わり2月頃より、小泉総理の権力も弱まり、9月選出の新総理候補に集中して行きます。

これからは、都会が田舎を大切にし、強い者が弱者を支えながら、経済が安定する協調主義政策を打ち出す総理候補の実現に向かって、自民党を誘導する年になる事を願っています。

然もむかし日本が侵略した隣国、特に中国で戦死された23万人軍人の遺骨を発掘させて戴けない国民感情等、隣国だけに交わり方の難しさ、もっと知恵を出さねばと思います。国際的にも緊張が続いています。この時だけに、私は一人で腕を組んで考えるだけでなく皆様と一緒に手をつないで考え、国家・地域の安心安全を求めて一生懸命に頑張りますので、何卒今年もよろしく御指導、御支援をお願いして県政報告31号をお贈り致します。

謹
賀
新
年



自民党50周年大会で安倍晋三官房長官と

(一) 日本の稻作を守る運動を展開しています

アメリカ米が一俵

六〇キロ、三、〇六〇円（キロ五一円）で日本の港に入ったものを、日本政府が関税を四九〇%の一四、九九四円を加えて一八、〇五四円で国内で販売されて

いますから、国内産米価一五、〇〇〇円よりも高く心配ありませんでした。が、今世界の自由貿易会議（WTO）で

最高七五%にするよう米国から提案されています。七五%になれば国内価は五、三五五円、半分の二五〇%になつても一俵一万円米価となり日本の米作農家は大

輸入港米価	3,060円	3,060円	3,060円	3,060円
関税率	現 490%	半額 245%	1/3 130%	米案 75%
関税額	14,994円	7,497円	3,978円	2,295円
販売米価	18,054円	10,557円	7,038円	5,355円

麦作経営で個人四ヘクタール、集落富農十ヘクタール以上の農家で豊作のため米価が下落した所得損失に、農家一に対し国四の割合の掛金の中よりその差額に補償金を支出し、又外国の輸入価格での所得下落には全額国が補償する制度ですが、四ヘクタールより二ヘクタールにすべき事を要望し又今迄の大豆、ソバ等地域の特産奨励金も一〇アール五万円補助の制度は存続されるよう要望して居ります。



生馬収穫祭のデコレーション1等賞の上佐地区前で

農家から掛け金を集め、国の負担金と合わせて農家に直接支払う事務は、今迄の食糧事務所等国の役人ではなく経験豊かなノーサイ組織を活用すべき事も要望します。

農家の所得補償制度とは…米、大豆、麦作経営で個人四ヘクタール、集落富農十ヘクタール以上の農家で豊作のため米価が下落した所得損失に、農家一に対し国四の割合の掛金の中よりその差額に補償金を支出し、又外国の輸入価格での所得下落には全額国が補償する制度ですが、四ヘクタールより二ヘクタールにすべき事を要望し又今迄の大豆、ソバ等地域の特産奨励金も一〇アール五万円補助の制度は存続されるよう要望して居ります。

(二) 五年間に島根県人口は一九、三三〇人、旧松江市でも一、一七六人減少しました

県民一人当たりの年間の消費額を一〇〇

万円（住居・光熱・食費等）とすれば、人口減少で年間一九〇億円の消費額が減少した事となり、国からの交付税も人口割り一人当たり二〇万円として、三八億円も少なくなる事となり、人口減少は島根の経済活動の減少に直結する不幸な事であります。

ています。国の食糧を守る基幹農家の生きる道です。一生懸命頑張りますが、皆様の声をお聞かせ下さい。

本来は県外に出た若者を教育、文化、福祉、交通等県内では最も恵まれている松江市に住まわせ、土日の休日には、県内の僻地に住む老人に親孝行をする様な県政をめざすべきであります。その中心の旧松江市の人口が一、二七六人も減少していた事は驚きであり、市政の失敗を、市当局も、私達選出県議も含め反省をせねばなりません。

坪七万円の安価な東出雲町の住宅大団地に市民が移り一、九一九人も増加した東出雲町と対比して松江市は、もっと働く場の増加策・安価な住宅団地の提供策等、市政と県政の施策が不充分であった事を反省し、製造工場・ソフト企業の誘致と安価な住宅団地造成、市街化調整区域の廃止等、県内の若者が、もつともつと集まる積極施策を打ち出さねばなりません。頑張りますので、皆様の具体的な知恵をお教え下さい。

国勢調査の人口数

	平成12年	平成17年	差
島根県	761,503	742,173	-19,330
旧松江市	152,616	151,340	-1,276

旧八束郡の5年間の人口変化

	平成12年	平成17年	差
東出雲	12,275	14,193	+1,918
八雲	6,844	6,905	+61
玉湯	6,114	6,219	+105
宍道	9,489	9,352	-137
鹿島	8,414	7,990	-424
島根	4,447	4,174	-273
美保関	6,781	6,280	-501
八束	4,584	4,321	-263

りますが、余りにも低くなつた基礎学力をまず向上させ、今さら土曜日の休日を廃止出来ませんから、長期の夏・冬休みに総合学習を集中的に行う等、今後知恵が出て来るものと思われます。

皆様のお考えをお教え下さい。

(三)十八年度当初県下小中学校生の学力調査を行います

人口が少ない島根県でも、学力は全国10番位と高い評価でしたが、今は四五一四七番と最下位に下がつたのは何故か、と私は四年前より具体的な対策を県議会で提案していました。

土曜日が休日となり、更にふる里教育等、地域の総合学習時間が増加した為、国語、数学、社会、理科等の基礎学力が大変低下したのは、日本全体ですが、その低下した教科を都会周辺では学習塾でカバーしていました。学習塾の無い、田舎の子供の学力が大変低下しています。

大学入試センター試験を前にして普通高校が一生懸命補習授業を行つても、小学校・中学校での基礎学力が弱く、良い結果は出でていません。県議会でも、学力向上対策特別委員会をつくり取り組んでいただき、県に要請した結果、県下の小学四年生以上、中学生全員の学力試験をいっせいに行い、各学校の学級ごとに、教科学力の成績を知り、担任先生の教え方が良いのか悪いのかを知らせ、学力習熟度を高める指導体制に取り組むことになりました。



黒田町道路竣工式のテープカット

(四)古代民族研究所の建設が再び延期されました

平成十五年澄田知事は古代博物館は年間300万人の参拝者がある出雲大社の隣地に、古代民族研究所は松江市大庭の風土記の丘に建設し、十九年に開館すると発表されましたが、知事選挙が終った十六年五月、県財政再建計画の為に古代民族研究所は十八年迄建設延期とされ、それでも期待しましたが、県財政はまだまだ予算縮小の為、再び延期となり、申し訳ありません。県立風土記の丘資料館は、今年改修…老朽化している今の資料館は三億円余で改修工事を行

いますが、県下の展示物は大社の博物館に移し、風土記の丘周辺の、国庁・国分寺・小倉・来美廃寺や遺跡等、当時の風景復元のパノラマの展示等、二億円余をかけ、奈良時代の風土記の丘全体を立体的に知ることが出来る展示室に改造成して戴くことになります。

奈良王朝より六〇〇年も前の出雲王朝こそが古代日本文化の中心であったのに、今迄は出雲に神話はあれども立証する資料が発掘されていなかった、との事でした。

然し、斐川町荒神谷の銅劍三五八本、銅鋒六本、銅鐸六個や、加茂町岩倉の銅鐸三九個の発掘、更に出雲大社神殿が日本一高い十六丈だつたことを証明する神木が発掘される等学問的裏付けが出来ましたので、高さ一位の奈良の大仏殿十五丈・三位の京極殿より出雲が勝つていた。この出雲にこそ、国立の施設を誘致すべく努力をすべきであり、県の古代文化研究所はその条件を誘導する為の発掘研究の施設である、との私の位置付けで努力さるべきである、との私の十一月県議会質問に教育長は賛成し、博物館という一般的な名称を日本最古の古代文化・出雲学

古代民族の研究は自分の間博物館で

十二名の研究員の一部は大社の博物館に異動しますが、他の研究員は自分の間、今の博物館で勤務し発掘研究します。

神在月の証明は…出雲神話は数々あります。

紀元前500年から紀元300年の弥生時代の日本全国の中で最も勢力の強かつた出雲王朝なればこそ、当時の旧暦十月（今の十一月）に全国各地の中心的な権力者の神々を出雲に集めて協議していましたから、日本全国は神無月、出雲のみ神在月と云われるよう、神代の昔の古代日本は出雲王朝を中心がありました。

代日本は出雲王朝が中心がありました。

を立証する研究所の表札に変えたい、そして考古学専門学者を沢山招いて研究すると前向きに答えて戴きました。此れにふさわしい名称を皆様お考え下さい。

(五)原発立地松江市の施設補助金の増加制度が無くなる事を心配しています

原発に事故があった時、避難する道路、港、学校、消防車等の通常の国補に対し、補助金を五五%迄増加し、補助残の借り入れ金の七〇%を特別交付金で援助し、更に後進地かさ上げ11%援助します。原発特措法のおかげで、関連する松江市内の施設は、県市の地元負担が殆ど無でしたが、三位一体改革で消防、学校施設に補助金が無くなりれば、原発特措法の助成制度の恩典が無くなりますから、松江市にとつては二二年度までの学校建設で十八億円、消防で九千万円の損失ですから大変です。原発立地十三県自民党幹事長会の私が会長として、原発特措法をつくって戴いた十三県の自民党国會議員の会と合同で、十八年度予算に対し、総務、通産、文部科学省幹部に原発特措法の恩典が生かされるよう、強く要請をしていました。特に細田代議士が国會議員の会事務局長であり松江市



12月県議会での質問

の平成二二年迄の小学校建設予定が駄目になつては大変と強くお願ひしながら十三県共同で頑張っています。

(六) 県施設の管理を民間に依託して一年間に五億六〇〇万円も経費が減額出来ました

県民会館、美術館、海洋館、浜山公園等県下二三施設の管理を民間に依託する、指定管理者制度を導入した結果、今迄年間管理費三億円余の支出が、五億六〇〇万円も減少する事が出来ました。

県	県民会館	美術館	海洋館	あすてらす	三瓶自然館	いきいきプラザ	浜田福祉館	宍道湖自然館
管理費	2.53億	3.36億	2.29億	1.05億	3.71億	1.13億	9,700万	1.01億
減少額	3,900万	8,000万	3,600万	1,700万	6,700万	1,100万	1,400万	+160万
	テクノアーク	くにびきメッセ	浜山公園	海浜公園	万葉公園	武道館等6施設	風土記の丘	
管理費	2.86億	0.16億	2.27億	2.00億	0.46億	3.58億	0.69億	
減少額	4,600万	0	7,200万	5,600万	800万	2,500万	800万	

松江市	陸上競技場	市体育館	秋鹿海洋センター	テルサ	カラコロ広場
今迄の管理費	4,845万	7,329万	5,551万	13,464万	3,140万
減少額	1,915万	2,842万	1,213万	4,864万	410万
	かんべの里	松江城小泉八雲	駅駐車場	魚瀬館	東津田館
今迄の管理費	5,089万	16,400万	5,294万	1,151万	981万
減少額	1041万	4900万	394万	306万	159万

旧松江市では、今迄の管理費四億が一、八億円減少、今迄市の直接管理費年間二億九千万元

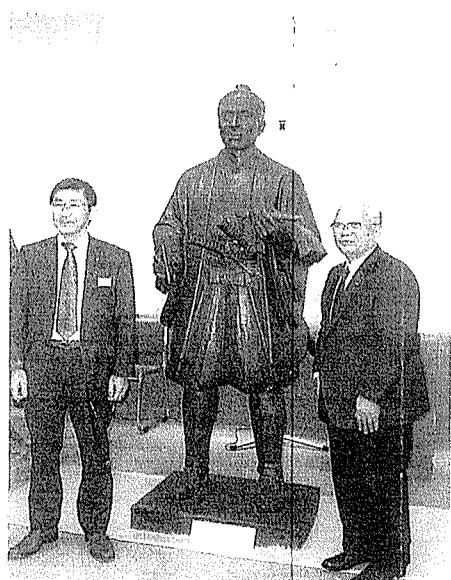
が民間依託で一億八千万円も減少した事になりました。民間依託者は四年間継続されます。旧八束郡の市施設は、十八年夏に民間委託者を公募して決定しますが、地域密着の公民館等は従来の相手を指定して依託する計画のようです。

(七) 銅像建設を推進しています

松平直政公を博物館前に、城山にあった馬上の若き松平直政公の銅像が戦時中の銅供出で無くなり、復元を求める葵ライオンズクラブを中心にして松江市でも三三〇〇万円の基金をもとに、建設場所を選定されていましたが、城山内は文化庁の許可が出ませんので、観光にも役立つとの理由で、知事の配慮により建設地が博物館前に決定しましたので、十八年に準備、十九年建設が進められる事となります。

佐陀川開削の清原太兵衛銅像は佐陀神社前公園に

洪水対策と海運業発展の効果を求め、松江藩の命により佐陀川を開さく専任者として大変な努力をした清原太兵衛の銅像を小松電気の社長が、須藤翁銅像と共に中国の台児荘で製作されたものを、寄附して戴き、鹿島町の清原太兵衛顕彰会の要望で佐陀神社前公園に十九年建設を進めています。



清原太兵衛銅像



周藤彌兵衛銅像

(八) 第五大橋の三世代夫婦家族の渡初め

八雲村の大洪水対策として江戸時代の大庄屋であった周藤彌兵衛は、八雲村日吉の劍山の開削を私財を投じて五六才から始め、九七才で完成させた村の大恩人であります。丁度国道四三二号の日吉団地の工事が十八年で完成しますので、隣接の八雲公園に銅像を建設して戴く事となりました。

先人の遺徳を偲びながら、観光の名所になる事を願っています。関係者の願いと、行政との間に入って建設促進に努力しています。

(九) 空き交番解消を強く求めています

犯事が多発し、安全に対する県民の期待が高まり、結果は第一線の交番警察官の街頭パトロールの徹底への要望に対応する為、逆に空き交番への不安の声も多くなってきました。

県下十五の交番所の内勤相談業務は警察官OBで全て充足し、現役警官は外勤パトロールに徹して戴き度いと、十二月県会質問で私は強く要望しました。

平成二二年度までの期限である原発特措法のおかげで工事費三一〇億円の第五大橋も県負担三%で十億程度ですみますので、二三年春までに内陸団地下9号線バイパスより女子高横の山迄の大橋が完成して朝鶴県道に開通を目指して、関係者が努力されています。もうあと五年で第五大橋の渡初めであります。

二三年春に沢山の三世代夫婦家族が渡初めに参加される事を願っています。その為には、ま

松江では駅前、内中原、津田、川津、乃木、古志原、比津等県下の十五交番に対し、十五人のOBが配置されていますが、OBは一ヶ月の半分昼間の出勤でありますから、月の半分は無く、事件の多い夜は無いから、空き交番への不満が多く出ています。特に夜営業場所の多い駅前、内中原交番には、OBの夜勤常設が強く求められています。

孫夫婦の誕生であり、二〇〇〇メートルを歩ける老夫婦の長寿と健康管理であります。私も隣の長男夫婦の娘一人が東京の大学三年と一年生ですが、卒業して松江で就職し、結婚できれば、私の家も三夫婦となり渡初めに参加出来る事を願って、私達夫婦とも、心身共に健康に気を付けて、健康食、健康器具、健康運動を更に取り入れて頑張って行きます。

十五交番に二人〇B配置で四十五人の〇B配置こそ必要と県警本部長に強く要望していますが、県職員、縮小方針の総務部長に対して、〇Bの増加配置が、どれだけ実現するのか十八年度予算に向けて努力し、安全への求めに応えるが頑張っています。

(十) 合併で消防団運営の調整が大変です

旧松江市は昭和三〇年に合併した当時の村単位一分団として十七分団です。分団を支援する消防協会がありますが、旧八束郡の町村には協会がありません。道路が不便のため分団・消防車・団員数も多いが、団員の火災出動手当は、旧松江市五、九〇〇円の半分以下の一、五〇〇円でありますから、合併により、この調整が大変です。

出動手当も火災発生時と日常の警戒、訓練に差をつけて同一手当とするか、分団数を減少して、火災出動区域を効率化する。消防協会も、松江市協会を廃止しても、分団支援の協会は存置しなければ、身の危険をかえりみず出動せねばならぬ消防団員になる青年がいなくなる等、関係者の協議が進められています。

私も松江市消防協会長としての立場から、火災、自然災害の防止、予防に活躍して戴く、常備消防と消防団活動のより充実の為積極的に取り組んで行きます。

今迄の消防団員と分団数

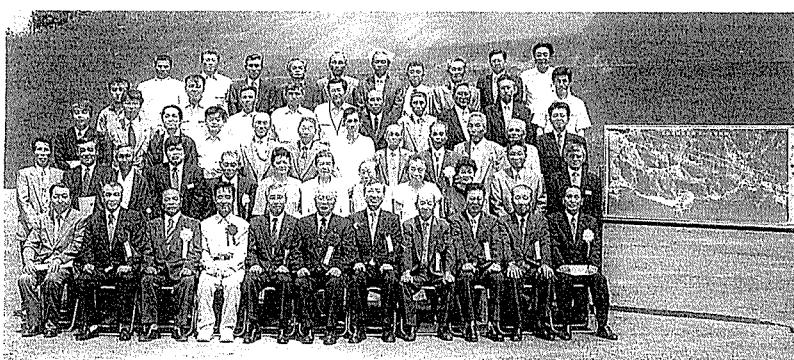
	分団数	団員数
旧松江	17	561人
鹿島	14	271人
島根	3	250人
美保関	19	335人
八束	8	152人
八雲	9	150人
玉湯	5	120人
宍道	2	240人
合計	77	2,079人

イノシシ狩猟のため、県一一億円、市町一・六億円を毎年支出して、年間一五、〇〇〇頭宛捕獲していますが、繁殖力旺盛なイノシシにより、収穫の稻、竹の子、芋等、県下全域での農作物被害は一億円前後と続いています。特に山間部の水稻の被害は、水田放棄につながります。

イノシシ捕獲のため、県一一億円、市町一・六億円を毎年支出して、年間一五、〇〇〇頭宛捕獲していますが、繁殖力旺盛なイノシシにより、収穫の稻、竹の子、芋等、県下全域での農作物被害は一億円前後と続いています。特に山間部の水稻の被害は、水田放棄につながりますので大変です。

私は、ノーサイ組合長として、西日本イノシシ対策の会長を引き受けているので、有害鳥獣対策国會議員の会と連携して、農家が行い易い、イノシシのワナのみの免許制度をつくって戴き、今年は県下で二百五十人免許を取っていましたが、鳥獣を銃で狩猟する獣友会（国一、五〇〇円・県二、〇〇〇円・地方三、一五、〇〇〇円・保険一、〇〇〇円）の会費と、更に県狩猟税一六、五〇〇円と合計して三万円余を毎年支出せねばなりませんので、一般的の銃免許者と異なり、農家が自分の農作物被害防止のためのイノシシワナ免許者には、せめて県の狩猟税を半分に減額する事を、十二月県会の質問で強く要望しました。県狩猟税は各県同額の目的税ですが、島根が先に減額するよう実現に努力して行きます。

(十一) イノシシワナの狩猟税一六、五〇〇円の減額を要望しています



魚瀬トンネル起工式にて

建設車両は十九年度末より増加：本体工事が始まるが、工事用車両の通行が多くなりますので、それまでに関連県道の拡張を完了するよう、松江土木事務所と推進していましたが、県道生馬一惠曇線の深田公園入口迄は一〇年に完成、西生馬一北講武迄は二一年春迄に完成の見通しであり、遅れている事は申しわけなく、更に早めるよう努力していきます。

地元業者が一々工事を受注できるのか：原子炉本体等の中心部工事は、全国の専門業者が受けるとしても、付属設備工事の何割を地元業者が受注出来るのか。県・市・松江商工会議所の努力と地元業者の営業努力の結果に対しても、中国電力の姿勢が表れます。私達は今公共工事減少の時、今迄とは変わって、中国電力の地元への配慮を強く求めて行きたいと思います。

十九年一二二年には工事人口毎日一、〇〇〇人：十九年の本体工事から二二年度完成迄には、工事に参加する人が一、〇〇〇人と云われています。旅館、飲食店のお客が増加し松江市の関連産業は大変忙しくなり、日本の景気上昇となつて、松江の景気は大変よくなつて来ると期待しています。商工会議所の皆様と共に誘導に努力していきます。

(十二) 原発二号機の四、〇〇〇億円工事が始まります

去る十一月二二日に原発二号機の工事着工許可が出て愈々十八年は敷地整地と基礎土木工事が始まり、十九年には原子炉本体の土木基礎工事、二〇年より本体建設工事が始まり、二三年完成をめざして四、〇〇〇億円工事が進みます。

建設車両は十九年度末より増加：本体工事が始まるが、工事用車両の通行が多くなりますので、それまでに関連県道の拡張を完了するよう、松江土木事務所と推進していましたが、県道生馬一惠曇線の深田公園入口迄は一〇年に完成、西生馬一北講武迄は二一年春迄に完成の見通しであり、遅れている事は申しわけなく、更に早めるよう努力していきます。

地元業者が一々工事を受注できるのか：原子炉本体等の中心部工事は、全国の専門業者が受けるとしても、付属設備工事の何割を地元業者が受注出来るのか。県・市・松江商工会議所の努力と地元業者の営業努力の結果に対しても、中国電力の姿勢が表れます。私達は今公共工事減少の時、今迄とは変わって、中国電力の地元への配慮を強く求めて行きたいと思います。

箱根山カゴに乗る人かつぐ人その又ぞうりを作る人：大きい山を越すには、心が願いが一緒にならねば越せないとの言葉ですが、明春は合併の新松江市での初めての県議会議員選挙を迎えます。然も、国県市ともきびしい財政の中ですから、今迄の経験を生かして、更に新しい発想を豊かに展開し、決断と実行をモットーに私も頑張りますので、今年は特に地域集会、グループ集会等、世話人の皆様に大変お世話になりますが、何卒よろしくお導きをお願い致します。

（三）個人墓地は届出のみで簡単に許可出来るよう要望しています

年老いて坂道歩きが困難となり、山の墓地を行きます。

島根県議会議員 浅野俊雄
平成十八年元旦

後援会世人の皆様へ

島根県議会議員 浅野俊雄
電話〇八五二二二五二二三三三
FAX〇八五二二二五二二三一六

家の前に移転したくて、一〇〇メートル周囲の同意が必要との規準で許可されない、との声が多くなり、私は昨年九月県会で取り上げ、火葬され自分の家の廻りに墓地を新設する場合、広島県では既に届出のみに改正しているのに、廣島県では既に届出のみに改正しているのに、島根県は昔からの墓地埋葬法の許可規準が残っているから、平成九年より市町に許可権限を移譲しても、松江市では県の条例を適用し、運用してきましたので、県条例の廃止を提案しました。県は今年三月県会で此の条例細則を廃止しますので、松江市は三月市議会に墓地許可条例を提出する事になります。